



JP 取扱説明書
原文翻訳

本日本語訳は、Schmersal 本社のドイツ語原文を基に作成されたものであり、翻訳上の疑義がある場合、原文及び英文のみが有効となります。

目的と用途

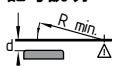
様々なアクチュエータ型式があります。主に、アクチュエータ-AZ/AZM 415-B1は、スライド式・取り外し可能な保護装置向けで、アクチュエータ-AZ/AZM 415-B2、-B3は、ヒンジ式保護装置向けとなっております。

取り付け

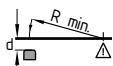
ヒンジ式扉の取り付け時には、ヒンジ中心がセーフティスイッチの引込口の平面と同じ面であることに配慮して下さい。（表参照）

動作半径					
		$R_{min} [mm] \times [mm]$		$R_{min} [mm] \times [mm]$	
	AZ/AZM 415-B1	-	-	-	-
	AZ/AZM 415-B2	-	-	250	36
	AZ/AZM 415-B3	250	36	-	-

記号説明



アクチュエータの広い側の半径



アクチュエータの薄い側の半径

ヒンジ軸とセーフティスイッチの端面は、同じ平面でxmmのオフセットでなければなりません。基礎調整は、最小半径 R_{min} で実施されます。

一方スリット付セーフティビス（付属品）を権限の無い解除に対する安全策として使用して下さい。

アクチュエータ-AZ/AZM 415-B2、-B3でピンで固定し、アクチュエータの取り外しを回避します。



アクチュエータのフランジとスイッチハウジングの間の距離は、アクチュエータが挿入された時には、 $< 3 \text{ mm}$ でなければなりません。（図1参照）

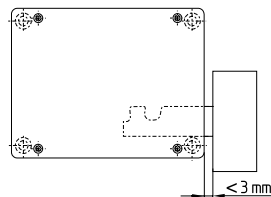
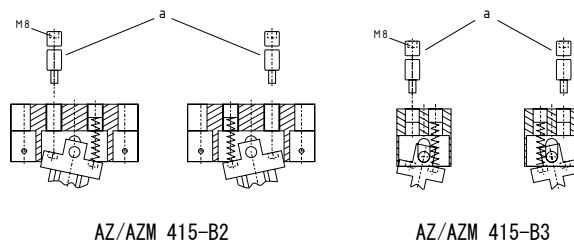


図1

調整ねじ

内部六角ナットネジの調整により、アクチュエータは、それぞれ希望の位置の近くに取り付けられることが出来ます。ここでは、適切なネジ・バネをアクチュエータから外し、付属内部六角ネジSW4 (a) を取り付けして下さい。



K. A. Schmersal GmbH
Industrielle Sicherheitssysteme
Mödinghofe 30, D-42279 Wuppertal
Postfach 24 02 63, D-42232 Wuppertal

Telefon +49 - (0) 2 02 - 64 74 - 0
Telefax +49 - (0) 2 02 - 64 74 - 1 00
E-Mail: info@schmersal.com
Internet: http://www.schmersal.com

